

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

埼玉学習センターの学園祭 第6回フエスタ盛況

大勢の学生、同窓生が フエスタを楽しむ

第6回埼玉フエスタが、去る10月13日(土)・14日(日)の両日に開催され、盛況裏に終了した。

これは学習センター教職員、同窓会、学生団体サークル、同好会関係者のフエスタ開催に寄せる熱意と協力の賜物である。また、近隣地域の人達、そして、他センターへの広報活動等も功を奏し、いままで以上の賑わいをみせた。

第1日目 13日(土)は

1日目の13日(土)午前中は、ソシアルダンス体験、原発関係勉強会、

埼玉CSC交流会 代表 岡里順子 第6回埼玉フエスタ を終わって

第六回の埼玉フエスタ(学園祭)は、十月十三日・十四日の二日間、埼玉学習センターで開催されました。学生・同窓生、地域の方々や学生の家族に加えて、遠方の長野からは同窓会の役員三名のご来場で、会が一段と盛り上がりました。

「フエスタ」開催の目的は、日頃は個人個人で学

オカリナ演奏があった。

公開講演会 韓流ドラマと史実

午後には、吉田副学長による公開講演会「韓流歴史ドラマに見る朝鮮時代史像」歴史意識と史実のはざま」が開催された。講堂は百名を超える聴衆で一杯になった。

第2日目 14日(日)は

2日目の14日(日)はPC教室、絵手紙教室、健康体操、朗読の会の催し、午後からDVDオペラ鑑賞が行われた。

んでいる学生同士、同窓会、教職員が交流できる場の提供です。回を重ねてきて、少しずつですが、交流が深まってきているのではないかと感じました。

実行委員として、各サークル所属の学生と同窓会の役員の方の協力を得、学習センターも全面的に協力していただきました。

好天にも恵まれ、成功裏に終了しましたこと、報告とお礼を申し上げます。

2日間共通の イベント

2日間を通して、センター職員、学生、同窓生の絵画、写真、書道など個人作品の展示、サークル活動の紹介、バザー、茶席等、多彩な企画が催された。バザー会場では東日本大震災復興支援で生産地福島野菜・食品が販売され、関心が寄せられた。

交流パーティ 楽しく賑やかに

イベントがすべて終了後、年1回の教職員、同窓会、学生が一堂に会しての交流パーティが開催された。アコーディオン奏者の伴奏での大合唱、俳句・川柳大会入選者の表彰及び抽選会等のイベントを楽しんだ。

61名の学生・同窓会員が実行委員として運営に協力した。運営経費に充当する賛助券は189枚の購入があり、前年よりも多数の参加、協力を得て成功裏に終了した。



オープン キャンパス

次の日程でオープンキャンパス(学習相談を含む)が開催される。(在学生も参加できます。)

開催日 12月22日(土)、1月12日(土)、2月2日(土)、2月17日(日)

時間 いずれも14時～

内容 大学の概要説明、履修案内、卒業生の体験談、施設見学、個別相談など

面接授業の 追加登録

面接授業の追加登録は空席があれば、原則として最初の開講日の1週間前まで受付しています。

まだ空席のある科目もありますので、ご確認のうえ申し込みください。

なお、授業準備の都合上1週間前でも受け付けられない科目もありますので、ご注意ください。

学生募集

平成25年度1学期の学生募集が始まりました。出願期間は左記のとおりです。皆さんの周りに放送大学に興味・関心のある方がおられましたら是非、ご紹介ください。

① インターネット出願：11月15日(木)～2月28日(木)

② 郵送による出願：12月1日(土)～2月28日(木) 本部必着。

探訪コーナー

京都 学習センター

10月19日、京都でのゼミ会のあと仲間と別れて京都学習センターに向かった。

JR京都駅正面改札から徒歩5分、西洞院改札口からだと徒歩1分という立地に恵まれた学習センターである。日光を浴びてガラスの壁面がピカピカと光る瀟洒なビル「キャンパスプラザ京都」の3階に学習センターはあった。

京都には歴史的な名所旧跡の多い観光地であるが、37の大学を擁する文教都市でもある。「キャンパスプラザ京都」は、大学相互や大学と地域社会との連携と交流を図るため、なみに60代以上は16%

たのは、仕事や生活のリズムに合わせ登録科目の増減をしたからである。

質問 在学中の印象に残っている出来事は

回答 最初の専攻「産業と技術」の頃、教科「日本の自然」で岩手宮古市田老の大防湖堤を紹介された。その後私旅行でも観た、その長大さに呆れたものであった。

昭和35年のチリ津波には耐えたが、去年3月11日の東日本大震災の10mを超えた津波には抗し得なかった。想定外と言いつつも責任ののれする立場では無いし、責任は無いと考えている。

入学前から平成23年3月31日会社を退職するまで、防災科学の振興を願い、地震計・傾斜計その他世界最先進の理工学測定機器を販売・設置施工する責任者として物見遊山で眺めているだけでなく、別の観点で考える必要もあつたと、

（埼玉では25%）と京都は若い学生が比較的多いことが覗かれる。

キャンパスプラザでは生涯教育の拠点として、各大学の公開講義が行われており、京都学習センターの図書・視聴学習室は一般市民にも開放されている。

学習センターには21のサークルがあり「表千家茶道クラブ」「LET'S S L a d i e s」などユニークなサークルもある。同窓会は、卒業研究や修士論文の発表会「放送大学での学びを伝える」の活動をしている。

埼玉フエスタと同日の10月13日・14日は、各サークルと同窓会の共同で学園祭「京(みやこ)祭」が開催され、各サークルの成果発表・実演等が行

わられた。今年で6回目とすることで埼玉フエスタと同級生である。

説明の後、講義室や図書・視聴学習室などセンター内を案内していただいた。学生控室には煎茶用と焙茶用の2種類のポットが2台セットされていた。また、学生控室には、近隣の名所旧跡の案内図が掲示されるなど、遠方から来る学生にも細やかな配慮が行われているのが印象的であった。

(若松)



インタビュ 岩本四津男さん

岩本さんは、去る9月生涯学習奨励賞金賞を受賞された方です。

質問 放送大学入学はいつからですか

回答 平成2年10月に入学した時は51歳でした。貿易会社に勤務していた国内外の出張が多く入学をためらっていました。

その頃、妻が既に放送大学に入っていて、家事の傍らボランティア等諸活動にも精を出して時間をやり繰りして勉強を続けていました。その様な彼女の勧めがあつて、「一念発起」入学を決めました。

質問 学習を続けられた理由は

回答 学習を義務で行うのではなく、趣味のような気持で興味を持ってきたからだと思えます。成果は仕事や生活に生かしたこともありませんでした。

五専攻を卒業するのに22年かかっ

たのは、仕事や生活のリズムに合わせ登録科目の増減をしたからである。

質問 在学中の印象に残っている出来事は

回答 最初の専攻「産業と技術」の頃、教科「日本の自然」で岩手宮古市田老の大防湖堤を紹介された。その後私旅行でも観た、その長大さに呆れたものであった。

昭和35年のチリ津波には耐えたが、去年3月11日の東日本大震災の10mを超えた津波には抗し得なかった。想定外と言いつつも責任ののれする立場では無いし、責任は無いと考えている。

入学前から平成23年3月31日会社を退職するまで、防災科学の振興を願い、地震計・傾斜計その他世界最先進の理工学測定機器を販売・設置施工する責任者として物見遊山で眺めているだけでなく、別の観点で考える必要もあつたと、

プロの一人として痛感するものである。

質問 在学生へのアドバイスは

回答 先輩も居られるのに口幅つたい事ですが、学習する機会は何時でも何所でも」という本学の謳い文句の様であれば、テレビ・ラジオの視聴・録音録画の時代は昔になりつつあります。開学の頃、通信教育が文書往来であった時代の先進者の驕りのままでよい訳がありません。

インターネット等を利用しないなどは現代的是でありません。時間に縛られず、外国に居ても学習可能なのです。

勿論、面接授業、図書館、サークル活動、研修旅行の大切さは変わらないと思っています。

質問 今後の抱負は

回答 当然、平成24年10月に再入学しました。「だって毎日が日曜に備えて行こうと考えている。」

（文責若松）

「関節炎体質」
笹原誠二

中学3年の冬、柔道部の寒げいで右肩を脱臼して、三角巾に腕を包んで帰宅したら、母に「高校受験の直前にけがなんて。あなたは小さい時から、ときどき股関節を脱臼しては病院通いをしてきたのよ」と説教された。

病院の院長先生からは「君は関節炎体質だね。腫が大きく、白目部分が蒼いから。将来彼女ができて、急に抱き抱えたりしてはだめだよ」と笑いながら言われた。

入学した高校は、県下屈指の進学校でありながら、「文武両道」をモットーとする運動の盛んな学校で、体育の正課に柔道や剣道が組み込まれており、入学早々柔道の授業で、柔道部の教師から「入部しないか」と誘いを受けたが、脱臼のことを話して丁重に辞退した。

その後、学生時代に排球部に入部し、遠征中の試合で右手親指を脱臼。会社に入社した後も練習中に左ひざの関節炎、右足首の捻挫とアクシデン

トが続いた。

10年前の放送大学に入学した5月には、自宅の階段を踏み外して階段下まで転落して、肋骨2本と腰骨1本を骨折して1月あまりの通院をした。

満身創痍に近い状態となった今は、激しい運動を避け、安全なウォーキングとラジオ体操で老後に備えて行こうと考えている。

投稿コーナー

自然体で倦まず弛まず諦めず

鈴木 悟

退職後、発心して60の手習いならぬ66の手習いが始まり、曲折を経てようやく大学の全課程を終了出来たことは幸運でした。善意の学友の助力に負うところ大で感謝して居ります。

内実は赤面の連続で、その間、腰痛が再発し深刻でした。勤めの頃の朝駆け夜討ちの生活が一変し、毎日が日曜日で学習に向かう時間が作られてそれはそれでよかったのですが、静止した生活になり、体調を崩したことを反省しています。又、学費の期限内の振り込みを忘れたり卒業要件を満たしていたのにも拘らず、又科目申請をして却下されて半年の空白

を作り始めていたが、それはモラトリアム期間と強いて考え、学習を先行させましたので卒業には後れを取りましたが、時間の無駄は生じませんでした。卒業してほっと安堵の念と同時に来春80歳を迎えるにあたり、学習をスタートした当時を思い浮かべ、記憶力、体力共に低下していることに愕然とし、静御前ならずとも「昔を今に為す由もがな」の念、一入です。

今、大学では5教科全方位に加えて多彩なスクーリング教科があり、十分学生の学習意欲を満たしてくれます。此の学校は無試験入学出来ます。然し安心してはいられません。9月、生涯学習奨励賞金数回の卒業には歳月が

官能

新井康太郎

味覚で感じ五感で知る

仏教にいう五根から出た語で五つの感覚、五感である。現代社会の中では、情報が氾濫して、役目を担う、中身を考えるに二次、三次の情報を加工して飾ったものは、感覚を麻痺させる。これは人々の判断機能を低下させ、日常生活の中に有る生活の本質を誤らせるのだと考える。

私の生活の中から身近に感じていることを言うてみよう。

視覚 今年の夏は長く、

かかります。学校は或る意味、闘争の場です。休息の場では有りません。「階前の梧葉已秋声」或る卒業生の方の言葉に心を打たれました。「耳遠く目かすみつつなお学ぶ」謙虚な頭が下がりました。学内にはオアシスが有ります。多彩なサークル活動です。己に勝る友とコラボレートし、相互に知識を高めあえば、期せずして目的達成出来る確信致します。

新聞紙上で何気なく語られる、淡々としたアスリート達の語り口を聴くとき、そのすさまじいまでの闘魂には襟を正さざるを得ませんが、その100分の1の努力で充分です。「少年老い易く学成り難し」対極に佐藤一斎の金言、言志晩録の一節「老いて学ばば死して朽ちず」と。(筆者は平成24年9月、生涯学習奨励賞金剛賞を受賞された。)

よもやま話 よろずや

人工多能性幹細胞 (iPS細胞)

ノーベル賞受賞おめでとう

10月7日、18時30分発表

2012年度ノーベル医学・生理学賞は1962年オタマジャクシの細胞核を移植した卵に移植、初期化してクロロカエルを作成した英国ケンブリッジ大ジョン・ガードン教授(79才)と、2007年にヒトの皮膚の細胞より、様々な組織臓器に成り得る能力を持った細胞、iPS細胞を創生した、京都大学iPS細胞研究所 山中伸弥教授(50才)に授与される。

ガードン教授が発表の頃、山中教授は誕生した。山中教授を中心とした研究グループはiPS細胞を作るために必要な遺伝子4つを研究し、4つの遺伝子に辿りついた劇的展開と工夫があった。細胞内の必要な遺伝子解析は、既に理化学研究所から染色体対

の半分が発表されていた24通りだが、そのうちのどんな組み合わせなのだろうか。膨大な組み合わせに対してどう調べるか、最初は途方に暮れたのだが、それも山中教授等は考えた。つまり総当たりでなく結果的に細胞分化を効率的に実験して確かめる方法になったのだ。はじめに計画した組み合わせを10通りと最後に⑩に全部入れてみた。ほとんどはうまくいかなかったが、⑩はどうも分化成長がみとめられた様だ。

このようにして24通りのそれぞれの遺伝子を1つずつ入れてみるという実験を繰り返して、分化成長に関わるものとかかわらないものを確認し、どうも4つの遺伝子が必要のようだという結果になった。初めてのiPS細胞は確認された4つの遺伝子を細胞内に移植して創生された。

iPS細胞の応用としては、すでに市販されているiPS細胞を用いて、新薬開発の効率化のために使用されており、さらに神経、

近所のマーケットで値段

を見ると、一匹150円、

高いなあ、新聞の経済欄

を見る、異常な気候か。

東北・北海道沖の海水温

が低下せず、魚が陸地に

近づかなくて不漁だそう

だ。それでも普通値になっ

て、卸値は1Kg5千円

ほど一匹50円。1日10

0匹売れるだろうか。中

小の小売りは苦しい、輸

送や人件費が出ないか!

な情報も得る。

味覚、臭覚 サンマの美

味しい季節到来です。近

所の晩ご飯のおかず、魚

の焼ける匂は強烈だ。食

アが近所に居る。年寄り

の半分が発表されていた24

通りだが、そのうちのどん

な組み合わせなのだろうか。

膨大な組み合わせに対して

どう調べるか、最初は途方

日々好日(六) 岡里順子

十一月某日

夕方、家の前の落葉を掃いていると、近所の幼稚園児が傍に来て「わたしもおてつだいする」と、葉っぱを拾い始めた。「おばーちゃんこのはっぱをみて、きれいでしょ、もらっていい？」その手には赤く色づいた柿の葉があった。「どうぞ」と言うと笑顔がこぼれた。西の空は茜色の夕焼け

で、「このはっぱは、あのおそらのいろをもらったんだね」と幼子は言った。この感性の素晴らしさ!夕暮れ時を、正に「好日」のひとつであった。

十一月某日 六月の面接授業「地域で支える秩父地域の歌舞伎」で紹介された「小鹿野歌舞伎」の公演の案内を頂いたので、秩父の小鹿野町へ出かけた。中学生による『寿曾我

サークル案内

トレヴィイの会

12月15日(土) 短歌を詠む会

江戸時代の古文書を読む会

勉強会開催日
12月8日(土)
12月15日(土)
忘年会
12月15日(土)

健康体操研究会

健康体操で免疫力を上げよう!
秋のフェスタでは、健康体操のイベントに沢山のご参加ありがとうございました。
インフルエンザの季節です。体操で免疫力を上げましょう。

放送大学熟年会

12月11日(火)
13時~定例会
14時~忘年会 徳樹庵
パソコン楽習会
12月4日(火)、18日

俳句

秋惜しむ土笛響く仮設棟
早天の雲散り散りの神無月
鳥憩ふ通船堀や冬隣
一面の刈田の郷の日のにほひ
花石路や人それぞれの道を行く

川柳

黒き帯のごとし秋の千曲川
秋耕のおへたる後の鉄ひとつ
早乙女
炉開きの松風をきく月日かな
保子
川霧の底ひに消ゆる奥武蔵
十詩

対面工藤館の場」と歌舞伎保存会による「二谷嫩軍記 熊谷陣屋の場」の二つの演目を観劇した。

地域の伝統保存に、町全体が一つになつて居る様子

子がうかがわれた。

往復の車窓には紅葉も見られ、晩秋の一日を観劇と紅葉狩りで楽しんだ。

毎週火曜日十時半から八階講堂にて定例会を開催しております。

お待ちしております。

お持ちしております。



彩スポーツ吹矢 正鶴会

12月7日(金)・14日(金) 定例会

朗読の会「こころ」

練習日 12月4日(火)
12月18日(火)
時間 午後1時~
場所 演習室(9階)

編集後記

今年の秋は短かったような気がしますが、私の好物の柿は豊作だったんでしょうか。それとも10月に京都の落柿舎を訪れた故でしょうか。

今年はお隣さんや友人はては親戚から奈良の柿まで沢山の柿を頂き、胃袋で短い秋を堪能しました。

柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺 子規。

次号は1月の期末試験の直前に発行する予定です。投稿をお待ちしています。(若松)